



異國小鑑

并
土産名物

ル 7
3368



門 丁
號 3368
卷

早稲 大學 圖書館
第28.3.11 號
藏 書

異國小鑑并土産名物



南京城下之遊天宮と云ひ一の異名
唐才のよまてより川日他るる如
少多すのりるす自中し又川中をく種
米とら今も汝入多し其れ紅くは其
而も其の年を歎口布し日るり復年
こえに其のよまてより川日他るる如

ついでに... 糸の... 糸の... 糸の... 糸の... 糸の...
糸の... 糸の... 糸の... 糸の... 糸の...
糸の... 糸の... 糸の... 糸の... 糸の...
糸の... 糸の... 糸の... 糸の... 糸の...
糸の... 糸の... 糸の... 糸の... 糸の...

編子 紗 綾 綿 紗 云 絹 絹 絹
金 紗 紗 池 綾 因 絹 絹 絹
柳 條 細 綾 巾 帯 絹 絹 絹
の 金 紗 絹 絹 絹 絹 絹 絹
布 絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹
絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹
硯 石 緑 香 汗 帳 絹 絹 絹

茶 造花 香花 磁器 磁器 光
の茶 海物 磁器 海物 堆積
まます 前海 海物 象眼
縁ます 明櫛 海物 黄糖
河首海 本茶 磁器 石炭 華
文庫 本茶 磁器 人形古
董磁器 角油 土器

北京 王城と明天下を屏と云し 我々の
燕の都と云え 朝の都と云ふ 今唐の
都と云ふ 折ら 東山を 朝鮮と云ふ
東山を 折ら 東山を 朝鮮と云ふ
東山を 折ら 東山を 朝鮮と云ふ
東山を 折ら 東山を 朝鮮と云ふ
東山を 折ら 東山を 朝鮮と云ふ
東山を 折ら 東山を 朝鮮と云ふ

冠とを何ものかといふは、
冠とを何ものかといふは、

作す 人參 水晶 瑪瑙 琥珀

芽椀 益骨石 銀象 御梨 梨葉

蟾酥 舌精石 染斑石 猪鬃 蔓

荊子 牛車 茶椀 虎骨 細毛

山東 城と 海も 府と ぶと 丸

高麗 玉と 南 京と 北 京と 西 京と 東 京と

大聖孔子の口唇有するを四代といふは、

日本にあらざるは、
高麗と云ふは、

高麗と云ふは、
高麗と云ふは、

日本にあらざるは、
何穀 蒙頂茶

青糸 青龍皮 貂鼠 松皮 茶

山形 山と 府と 山 形と 山 形と

山西 城と 山 形と 山 形と 山 形と

光華の都といふくは海島は不
雨の山は日本島ありて高下は京
より日本島東と京部よりの
そよ風と云ふと云ふといふ
れは本島より人冬へ冬
芽香 石高蒲 芽草 瑪瑙 毛種
去るあ本冊 云々行あり

陝西城と云ふ府と云ふ部の秦の都
漢の都といふと云ふと云ふと云ふ
京後列舟に京を云々都おもて雲の比と云
あ五部といふと云ふと云ふと云ふと云ふ
心
整尾牛と云ふ
鵜鵜
石油は京河車といふと云ふ
云焼おと
河南城と云ふ封府と云ふと云ふの魏

の地より、伏羲神農の都と云ふは商人

の都と云ふは、高辛の都と云ふは、

牛黄、磁石、熊膽、石膏、白朮

地、磁石、龜、麋、石、芍薬、弓

湖、廣、城、下、と、武昌、と、云、ふ、じ、し、水

楚國也、涇、底、湖、有、い、ふ、凡、系、多、く、

商人、多、く、も、た、る、長、安、の、東、に、

洞、も、亦、有、り、方、竹、置、瓊、竹、竹、

香、橙、楸、金、積、金、白、生、草、白、朮、

麋、胆、豹、野、鳥、錦、雞、天、我、鳥、黑、

緑、也、也、其、の、ま、た、作、る、

江西、城、と、も、昌、府、と、も、我、の、楚、の、

都、鄱、陽、湖、と、云、ふ、(海、あり、) 舟、を、こ、す、

商、の、都、と、云、ふ、は、(海、あり、) 舟、を、こ、す、

何、

葛布

金糸布 五線 名行 斑行

行布 上糸磨 比美

絹 江戸城と杭州府と云む此紙

玉造子 西湖と云む海有風糸紙

長家糸 江戸と云む此紙

うき糸 糸角日本九割の糸

物引糸 白糸 羅作紙

紫糸 糸 燕子 島糸 海糸

糸 糸 竹 鶴

福徳紙 糸 糸

糸 糸 糸

糸 糸 糸

糸 糸 糸

そのあつちのまねがうしうあ衣服見借も糸

うり能るる方復おし似を本に居あう城

唐ウ町しりきりしきおし言の精忠伝

絨 袖 糸 糸 緞 白砂糖 午

糸 膠 糸 糸 緞 糸 糸 糸 糸

廣東城り有ち糸をそ糸織おも糸

福列る糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸

糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸

韓退之流されし糸糸糸糸糸糸糸

糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸

糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸

錦 二彩 八糸 七糸 浴服 眼流

琴石花 玄珠 糸 荏菹 孔雀 鸚

鷓 翡翠 花 梨木 糸 糸 糸

廣西城と桂林府とふくまの都

本よと生らまきと 唐車取み泉州の

形とて来らる人物とてふ唐車東回りの

新船肉 辰砂 象 錦鶴 狸と

雲南坪とと別とてふ唐車とてふ唐

車唐の比とて東京とて唐車とて比はまきと

とて唐車とて唐車とて人物とて唐車とて

前よとて 不窮 練北曉 蛤 魚

多麗 女木柱とて

半列城とて宮殿とてふくま海とて

とて唐車とて唐車とて唐車とて唐車とて

く唐車とて唐車とて唐車とて唐車とて

蘭 芙蓉 海棠 石榴 女木柱

四川城とて成都府とて唐車とて唐車

玉川の産物

くわんげん 何れも列に可 異鳥 白鵬

銀鶴 七五将の産物

右と申元十の省と云ふは

此省のふらふら

おとらふらふら

朝鮮玉と云ふは

馬の香所産物

と云ふ者別

出仕と云ふ他

と云ふ者別

人多く

油布 牛黄

琉球

唐平今より海平なりと云ふは海平の福列
あきくうふ海平今より海平の福列

本郷 色蕉布 生巻 砂粒 泡盛酒
此等物有く不巻くともくといふ皆福列
本郷のく右巻玉巻布といふ中巻に
こころいふはあつらひ

大寛三の福列といふは

月一といふは海平の福列といふは
之神殿と云ふといふは海平の福列
此の文の只國姓爺辰巳といふは
若くわらんといふは海平の福列
此の文の只國姓爺辰巳といふは
今海平の福列といふは海平の福列
物と云ふといふは海平の福列

師ハ将ニシテ庶ニホシク是國ニ生レシクハ
はらうと師をまゝくくし方ありく是事麻より
あり文字ありくしとそまを尾くまひ作
玉の風をとらるるものゆ

麻皮 山鳥 樟皮 西風

交趾 暖衣 毛布 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

都也おのまゝくしは男よ似ておのまゝくし

女さうのら女さうくし男もたにさうくし

さうくし女にさうくし中まのまらまら

くしおのら後編ちくしおのらおのら

たぐいせん後編すくしおのら

奇楠 沉香 柔脂 糸線 鳥紋

花子 麝香 珠刀 木 紋 浮石 糖 牛皮

回角 花布 山鳥 毛布 絨

東京と交趾の都よりいへば海を列のま
とらう軍艦よりいへば舟のあなれとみれば
あてふ事いかにあつたあめのはりきやこト
ちいかりいよの肉桂ちちりりときたん
おけてるまふよき肉桂さくらを人お交趾
といふことあつたといふ事

稍テしよこ テラナ 亞鉛 考 歎 ち 焼

わりのあなれ せりさきをばたて
と城海よりいへば白雲よきあめのはり
いよのさくらちちら草のゆらうとて交趾より
供養よりあつたいよのものもあつたあ
唐の日本よりいへば和名ありあつた
つあはつやく 音 楠 河 香 白 根 枝
花 薹 魚 膠 けりさきをばたて

東埔寨 ありまの目らう 中らありて

伊ちそふのむらとあう 暮らばゆの川

刻ち空恒向のあうと 浩う有秋のら

るうしてあむらまはく 二つ流んは毎

て往ふと之を名を空ま来て 初うううの勢

うらうらうの敷ありうらうと 流るるうとん中

うと蚊帳と川とくさくさうとあうとあうとあうと

ぶうはひたさうらうらうらうらうらうらうらうらう

とわうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

象牙 虎皮 犀角 左布 多羅

葉い加うあむら

大泥 むらまの目らうとあうとあうとあうと

いあうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

あをるるのうらうらうらうらうらうらうらうらう

猿猴 麝香猫 人猿 蛇 くらげ

鸚鵡 孔雀 鳩 じわらふね けしき

六甲 大匠のむ並 せまき せまき

古漢わし 伝奉ら 匠口よ 大熟

いあまの けしき けしき けしき

けしき けしき 燕窩 鮫 魚 獣

暹羅 海と二千四百里 度 けしき けしき

則ち けしき けしき けしき けしき

けしき けしき けしき けしき けしき

熱い けしき けしき けしき けしき

けしき けしき けしき けしき けしき

けしき けしき けしき けしき けしき

水 けしき けしき けしき けしき

本 けしき けしき けしき けしき

狀如の45...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

水牛角 紅玄 虎皮 綠丸 蛇皮

燕子は...

咬啗吧...
...

...

...

...

...

...

...

あつひの舟のわたり場を法新しと代作つと

らと 番木蠟 位文席 蚊帳

巴且杏 小スミス アラキ酒 フラスコ

イニユ鳥 孔雀 白鳥 カウハレトウ

テラセウ鳩 ぐさ リス おいろく テラセ

呱 陸凡はわりの 吹雪うら ちかきうとあつす

茶のむらうもふの 湯こらむ 茶おし

番 目 別名ハの 何ウー ちかきうとあつす **ワ** 虎

ひくく 目 何 (何) 何

母 羅加を 泥 女 ぬい ちかきうとあつす

ちかきうとあつす ちかきうとあつす ちかきうとあつす

ちかきうとあつす

モウル ちかきうとあつす ちかきうとあつす

ちかきうとあつす ちかきうとあつす ちかきうとあつす

ち原はあのみち

阿波園院をいふと名ルウチテウイタラテ

トウシト フウスルイセル フリイスイラト フラタ 命

七列しあの若丸高祖を伝えうらこあこ

あのみちあきくろくろくまきあしああのも後

とコトシテトシテあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

あのみちあきあきあきあきあきあきあきあきあき

カルカク (ル)トハシ ハシイタ マルメシカイ マ
メシ ユロフクシシ ナヨロケシ フラアタ モビロ
エス 琥珀 珊瑚珠 コイラ ウシカレン
エシハシ 火石 源玉 殊海島 伊達
世界の島 星れ圖 具足甲 加多多
鼻目金 ヒンドにあり 鉄炮 カツラ
双石筆 外料のたき 入者好日足
イスタテビ 罫針 紙 干漆茶 膏茶
油茶 けわいろく ち産多
ケイラこりやう 式十百九千 墨海 花
海海のたれようのありまじありと伝を
ツモシタラ、ち空の海の田あり海し
くおきむらに 細く名らるし 乙 櫻

ヘクウキヤじりよりうらる路りよと新かきつゝ
原まのーとに分るかうんもさる平のさるさ
かして信をさくおらまもさるさるあつら
アラカニもさるさるのさるさるに今様
カイハニもさるさるのさるさる
シタ梅さるさるのさるさるのさるさる
阿蘭路のさるさるのさるさる

シカラ梅さるさるのさるさるのさるさる
シカラカニヤウジニラカテニオカス
徳蒲園テクスニさるさる
オラアタモウニノちし奥路今帝たふ
セウラス花さるさるのさるさるのさるさる
さるさるのさるさるのさるさるのさるさる
モウアサのさるさるのさるさる

ニカサアハチ 薩摩アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニハアハチ 薩摩アハチ 九州アハチ 九州アハチ
テイモウハチ 薩摩アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ハカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ

セウハチ 薩摩アハチ 九州アハチ 九州アハチ
タナアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ

エケリス 薩摩アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ
ニカサアハチ 九州アハチ 九州アハチ 九州アハチ

朝鮮 琉球 日本 東京 文趾 右 左

和名よりとも中東の命にきくはるの中東の
文字より外東占城東埔寨
六泥六甲暹羅咬晒吧吼哇
番皇母此伽毛ウレ阿蘭陀存
中東より心標文よりとさし

カスティーラ
カスティーラ
カスティーラ
カスティーラ
カスティーラ

阿瑪淡 呂宋本ニシテウハヤシエケレス
存多ク代御別物ありてさるらん

自北極星國に路程

壹岐國四十八里 丸山島四十八里
村島列分九千六百里 朝鮮列分高土崖
琉球列分三万四千里 南京列分二万
大宛 五万七千六百里 福州 五万四千里

漳州六百四十里 泉州六百四十里

カントウ九百里 廣東或千一里

ビヤウ七百二十里 アカカ八九百里

カウチ千二百二十里 呂宋千八十里

ハガチ千十里 占城千六百六十里

ニルカ六甲千六百九十里 東埔或千七百里

暹羅千八百里 バタビ二千十里

カールイハ千三百里

ニヤカタラ三千三百里 一カカ九二千六百六十里

コワ吃イ吧口千四百九十里 イシケシ四千四百九十里

オシロシリ五千二百九十里 イスバニヤ一カチ七百

三十里 ホルトカレ一カチ千九百九十里 イシケシ

又ととカニ千六百七十九里 アラシタ一カチ千

二百里 ロウシ一カチ千二百九十里 東京

千三百里 嵩丹三千三百里 寧波

三百里 普陀山 二百之六里
潮外 六百里 厦門 之百里

享保八卷七月八日

右家世流為去保誌八月

百以採年商

張原奉七
僕也

